

眠ねおん音

季刊 [Neon] Vol.33 2015 Spring

萌動 / めばえいずる
gamadan / ガマダンのこと。

眠音

ねおん

Vol.33
Spring

2015年3月1日発行 発行・編集人 / 田中和昭 発行所 〒921-8032 金沢市清川町1-1 ☎076-280-4800
本書の全部または一部を無断で複写することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。 © Ishitaya Co., Ltd. <http://www.ishitaya.com> Printed in Japan

定価300円 税別



石田屋
www.ishitaya.com

1-1 Kiyokawa Kanazawa Phone: 076-280-4800
〒921-8032 Ishikawa Japan F A X : 076-280-4400

眠音

ねおん

Vol.33

季刊 [neon]

2015 Spring

撮影 / 藤森祐治

くらくら。すやすや。
しあわせな寝息は
今日もすてきないち日だった証拠。
あしたもすてきな日でありますように。
毎日ほんの少しのヴァカンス時間をつくる。
季節をかんじながらゆるりと過ごそ。

CONTENTS

巻頭 ちようどいいって気持ちいい。
驚きの羽毛布団で、一年中、快適。

02 特集 萌動／めばえいずる

gamadan / ガマダンのこと。

塗師 赤木明登さん
ガラス作家・美術家 辻 和美さん
金属造形作家 坂井直樹さん
陶作家 中嶋寿子さん
金工作家・彫金師 竹俣勇吉さん

14 冬布団のしまい方

金沢に暮らす人。 PIPPURIKERA 宮下 知大さん
宮下 理栄さん

18 ギャツペ 生命の樹

「こんには 赤ちゃん」
石田屋の出産準備品いろいろ
使い方いろいろ
人気沸騰中のココナッツオイル

24 編集後記

巻末 石田屋イベントスケジュール

ちようどいいって気持ちいい。
驚きの羽毛布団で、
一年中、快適。

羽毛布団の価値はダウンの重さで決まるわけではありません。近年では、超軽量ダウンジャケットの普及などにより、軽くて暖かいダウンのパワーが、多くの人に認識されるようになってきました。

当然のことながら羽毛布団についても同じようなことが言えます。ダウンの量が多ければ、重ければ良いというわけではありません。軽くてパワーのある上質な羽毛ほど優れた保温性を発揮してくれるのです。春から夏にかけては200g、300gといった軽い肌掛け羽毛布団が人気です。200gタイプは、一般にはほとんど出まわっていないので、ぜひ一度手に取って試してみてください。一年中、羽毛布団で眠りたい方は、薄手の羽毛布団を季節ごとに組み合わせて使うほど。

睡眠環境を最良の状態に整えることは健康の第一歩。なによりも気候や体調にあわせて、ちようどいい重さやサイズの布団で眠ることは、ストレスからも解放され、すこぶる気持ちがいいのです。

カウフマン
シングルロング羽毛掛布団
200g 101,000円～
300g 116,500円～
500g 147,500円～
800g 194,000円～
※価格はすべて税別
※石田屋各店にて取扱い





田中佳美
(たなか・よしみ)
株式会社石田屋 代表取締役社長。社長就任以降、持ち前のバイタリティは天井知らず。新店舗の構想を全てコントロールする司令塔。



三浦史朗
(みうら・しろう)
建築家。京都の中村外二工務店に勤務後、独立。株式会社三角屋を設立。住宅・店舗を問わず国内外で活躍。



特集

睡眠体験型ショップ gamadan / ガマダンのこと。

昨年、石田屋では犀川店が誕生して10周年の節目を迎えました。そして今年、また新たな店舗が誕生します。

その名もgamadan / ガマダン。
gamadan / ガマダンは、実は読み違いから生まれた造語です。聴いたこともない、静かで存在感のある響き。いつの時代の、どこの国の言葉か、どんな意味なのかさえ連想させない不思議な音。女性的でもあり、男性的でもある。古くて、新鮮。美しく、そして懐かしい、陰影のある言葉。日は昇り沈み、月は満ち欠ける。人は、働き、食べ、眠る。原始から続く営みの中にgamadan / ガマダンは産声を上げるのです。

新店舗の構想が生まれたのは、実は、犀川店が完成した頃のこと。次は、心地よい眠りを体験してもらえる店舗を作りたい。石田屋はそんな気持ちはずっと持ち続けてきました。まだ日本の、世界のどこにもない睡眠体験型ショップを作る。お客様が、見て触れて、寝具や睡眠環境の違いを実感することができる「泊まれる布団屋」が、ようやく完成しようとしています。

設計は、京都の三角屋さんです。本物を見極める確かな目、秀逸な素材の活かし方、その道のプロたちとの丁々発止など、これら全てを安心してお任せできる信頼のおけるパートナーです。三角屋でマネジメントを担当している三浦史朗さんは、10年ぶりの再会が、双方にとって刺激的なものとなっていることを、心から喜んでる様子で語ってくれました。「今回は、強い個性を持った金沢（石川）の作家さん5名と一緒にさせていただきましたが、彼らの仕事をしっかりと建築に埋め込んで活かしていきたいですね。より良いものを形にするために切磋琢磨できるチームだと思っているし、楽しいです」

新店舗の場所は、風を感じ、木々の緑を身近に感じられる高尾。山側環状線沿いに建築中のgamadan / ガマダンが完成するのは風薫る5月の予定です。今は、新店のオープンに向けてスタッフや関係者が奮闘中です。新店舗完成まで、まだしばし時間はありますが、どうか皆さん、楽しみにお待ちください。今号の『眠音』では、新店舗で協力をいただく作家さんたちをご紹介します。

gamadan / ガマダンでは、レストランとフラワーショップも併設。



(取材内容は2014年12月と2015年1月上旬現在のもの)



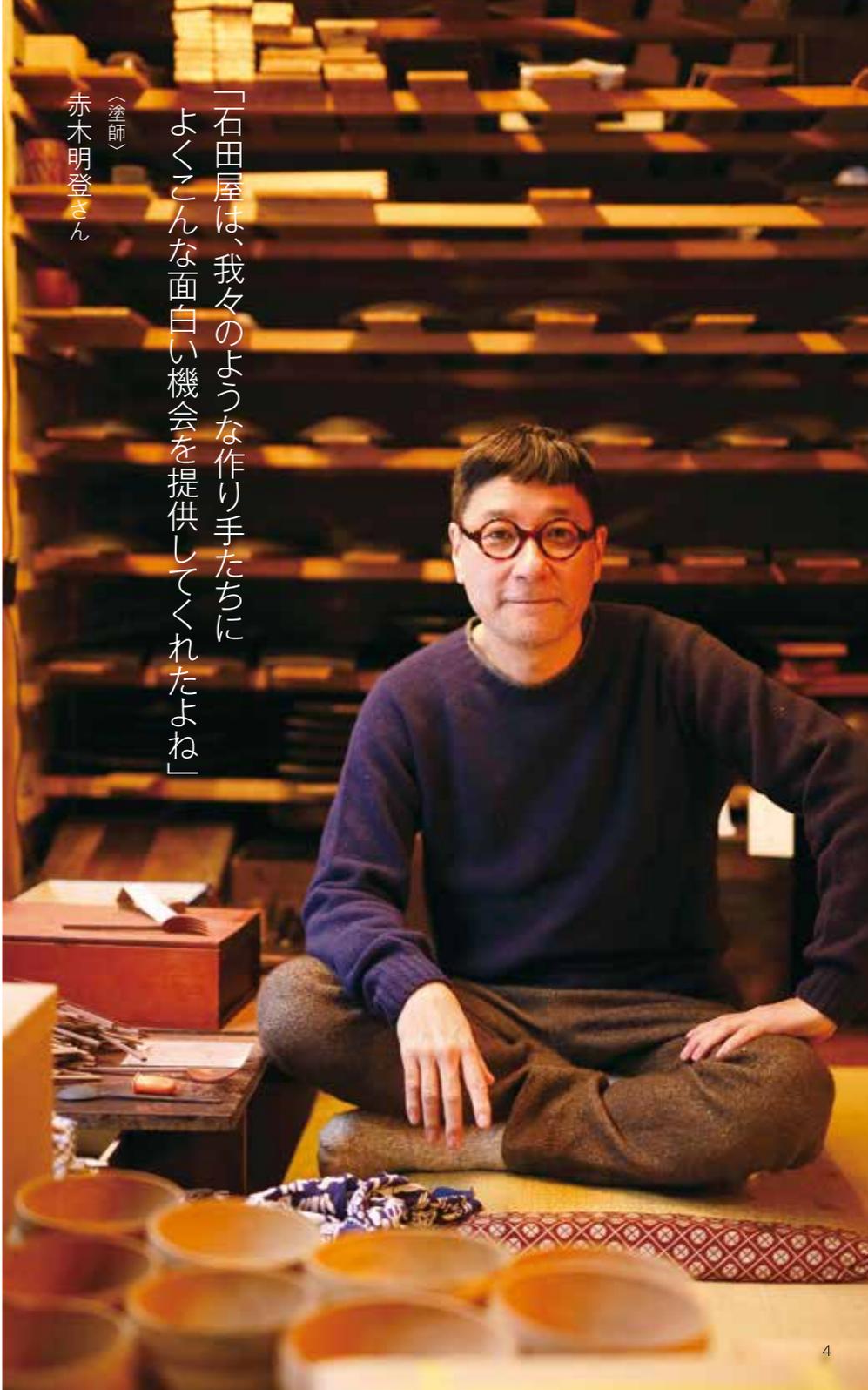
大道めぐみ
(おおみち・めぐみ)
株式会社石田屋 A・UN店 店長。新店gamadan店長に就任予定。石田屋の可能性を面白い方にどんどん広げるお洒落アイコン。



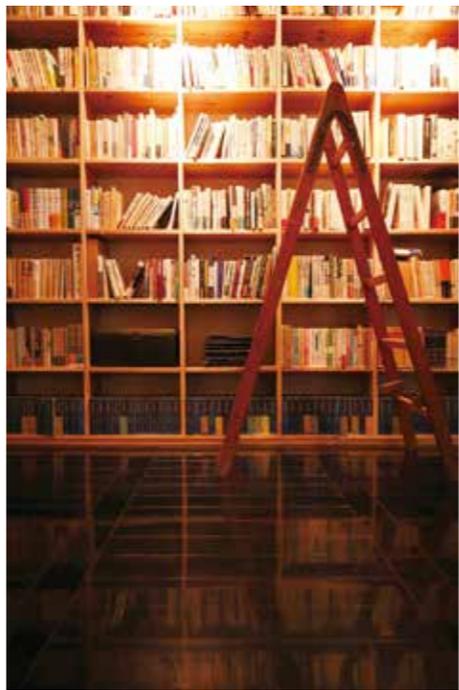
田中和昭
(たなか・かずあき)
株式会社石田屋 代表取締役会長。昨年、大病を患うが懸命な治療と摂生、リハビリの結果、以前よりも元気になって復活。新店舗建築に情熱を燃やす超人的な逸磨男。



「石田屋は、我々のような作り手たちに
よくこんな面白い機会を提供してくれたよね」
〈塗師〉
赤木明登さん



今や、日本で最も有名な漆芸家の一人、輪島在住の赤木明登さんは、国内はもとより、世界をまたにかけて活躍している。彼は自らを塗師と称し、職人であるというスタンスを貫き通すけれど、ある時はプロダクトデザイナーとして、またある時はプロデューサーとして、実に様々な仕事に携わっている。執筆活動も精力的に行い、著書も多数。いつ、



(あかぎ あきと)
1962年岡山県出身。中央大学文学部哲学科卒業後、世界文化社へ入社、編集者となる。1988年退社し、輪島へ移住。輪島塗の下地職人・岡本進に弟子入り。1994年年季明け後、独立。以後、輪島で独自の漆器作りを始める。1997年ドイツ国立美術館「日本の現代塗り物十二人」に選ばれるなど、海外でも高い評価を得る。

いかなる時も表現することを厭わず、惜しまない人なのです。

工房では仕上げの「上塗り」を担い、埃つ入り込まないように細心の注意が払われた部屋で、器と向き合います。誰もいない静かな環境の中、漆が塗り重ねられるひと時は、まるで神聖な儀式のよう。ひと刷毛ごとに漆を重ねていく姿は、作品に命を吹き込んでいくかのようにも見えます。

そんな赤木さんが石田屋の新店舗 *batadan* / ガマダンのために製作して下さるのは、漆塗りのお風呂と洗いの敷板。昨年春に完成し、各所で話題を集めた赤木さんのゲストハウスのバスルームには、黒光りした正に漆黒の美しい風呂桶がありました。

「滑りそうに見えるかもしれないけど、実は大丈夫なんですよ。足の裏や身体全体で、漆の皮膚感覚を楽しんで欲しいですね」

ゲストハウスを訪れた田中会長と社長は、大きな漆のお椀のような風呂桶を見て、その場で新店舗のバスルームでの導入を決断。

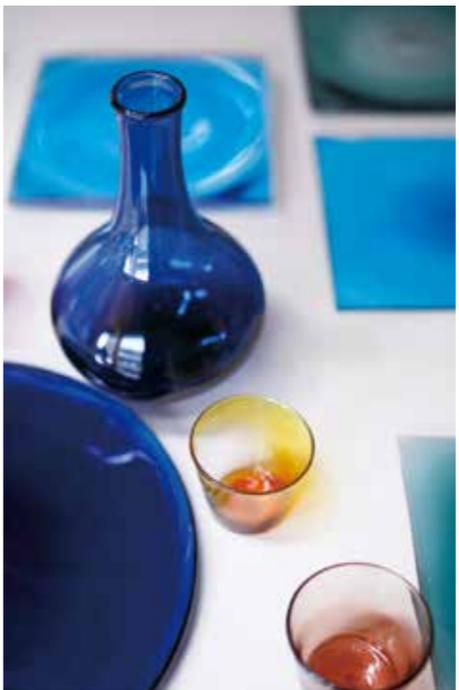
サイズや形がどうなるのかは、出来てからの楽しみ。この上なく贅沢で美しいバスルームになることでしょう。





「再生ガラスを声高にうたう気はありません。美しく作られたガラスがへ美は再生なんだって〜」くらいがいいですね」

〈ガラス作家・美術家〉
辻和美さん



(つじかずみ)
1964年金沢市出身。カリフォルニア美術大学卒業後、1999年にガラス工房「factory zoomer (ファクトリーズーマ)」を設立。2005年直営店並びにギャラリー「factory zoomer/shop」をオープン。2009年金沢市文化活動賞受賞。アナザームーブメントをキュレーションするほか、生活工芸プロジェクトディレクター、金沢広坂の「生活工芸shoplaboモノヒト」の総合ディレクターなども務める。

ものづくりに秀でた才能を見せる人の中には、作品の創作以外にもマルチな才能を発揮する人がいる。factory zoomer / ファクトリーズーマを率いるガラス作家、辻和美さんもそんな一人です。デザイナーとして、ガラス作家としてだけでなく、美術家としても活躍。キュレーターとして、ディレクターとして、様々なプロジェクトに参画する



など、とにかく忙しい人なのです。そんな辻さんが今回、手掛けて下さるのは、建築材としてのガラス作品。吹きガラスであるが故に制作可能なサイズや重量にも限界があるといえます。工業製品では出せない作品性と、建築資材としての基準を兼ね備えたガラスは、きつと、かつて見たこともないようなものに仕上がるに違いありません。

「三角屋さんと相談しながら、厚みやサイズ、枚数について詰めているところです。仕事を依頼された当初は、田中会長が体調を崩されていたこともあって、元気になって欲しくて引き受けてしまったのですが、もう本当に大変で(笑)」 いたすらっぽく笑う辻さんの表情は優しく、とても愛情に溢れています。

キーワードは再生。廃棄ガラスのリサイクルプロジェクトから生まれた「factory zoomerの美」の「ブルー」は、新店舗gamadan / ガマダンにも取り入れられる予定です。限りある資源について大切に考える辻さんたちによって生み出されるガラスは、きつと光を独特に透過させ、今までに見たこともないような陰影を、新店舗にもたらしてくれることでしょう。





「湿気が多い金沢は、錆もよく付くのですが鉄を扱う者にとっては、それも魅力です」

〈金属造形作家〉
坂井直樹さん



(さかいなおき)

1973年群馬県出身。2003年東京藝術大学院博士後期課程錬金研究室修了、博士学位取得。同大学にて非常勤講師。2005～2008年金沢卯辰山工芸工房にて研修。2010～2012年金沢大学非常勤講師。2011～2012年金沢美術工芸大学非常勤講師。2013年～金沢卯辰山工芸工房専門員。金沢市内にて制作活動を行う。受賞歴多数。

坂井直樹さんは、硬く重く冷たい「鉄」という素材を、この上なく繊細で端正なフォルムに象れる人。誰が見ても彼の作品であると思われる代表格といえば、鉄瓶とも、薬缶とも、ケトルとも言いきり難い、湯を沸かす鉄の道具。火鉢の上でもHコンロの上でも使えて、使わないときにも美しい存在感を放つアレは、彼が金沢へ移住してから誕生した

もの。

一度、錆びさせた後、何度か漆が焼き付けられて仕上げられる独特の風合いは、彼が生み出す現代的な形象に、重厚で落ち着いた佇まいを添えています。湿度の多い金沢では季節によって錆びの付き方も変わります。仕上がりの表情も異なるということです。そんな環境で作られるからでしょうか、彼の作品には侘びた風情も漂っています。

今回、bamadan / ガマタンでは玄関の門扉や店舗サインに坂井さんの作品が用いられる予定です。

「門扉は大きなサイズのもので、すし、何より機能を保全するためにはある程度の精度も求められます。だからといって板金屋さんで作るようなものでは面白くない。そこはこれから相談しながら形にしていきたいですね」

長く鍛金を研究し、素材をはじめ、多くの技法や加工について学んできた経験が、如何なく発揮できる機会なのかもしれません。坂井さんの表情は明るく意欲的です。

bamadan / ガマタンを訪れ、門扉を見るたびに、「ああ、ここにも金沢が誇る作家さんの作品がある」と、訪れる人をも誇らしい気持ちにさせてくれるのではないかと、今から期待せずにはいられないのです。



「土から生まれる見たことのない表情に
自分自身が出会ってみたいという気持ちです」

〈陶作家〉
中嶋寿子さん



いつ、どこで作られたものなのか、いつからそこにあったのか。その作品を見る者、手にする人に、そんなことを感じさせる作品を生み出す人。それが陶作家の中嶋寿子さんです。

石田屋では陶ブローチの作家さんとしても知られていますが、小さなブローチ一つひとつにも彼女らしい世界観が表れます。細かな作業を積み重ねて仕上げられていることは誰の目にも明らかで、その質感は、貝殻やサンゴ、化石のようでもあるのです。羽のような軽やかさと、時空を超えて存在しているかのような不思議な空気をまとっているのも特長です。

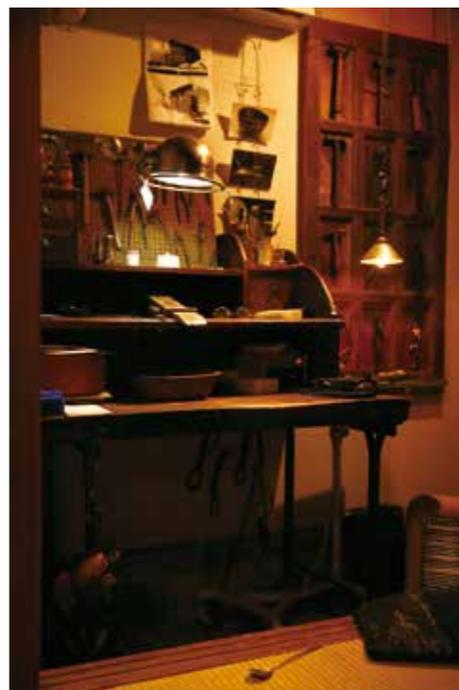
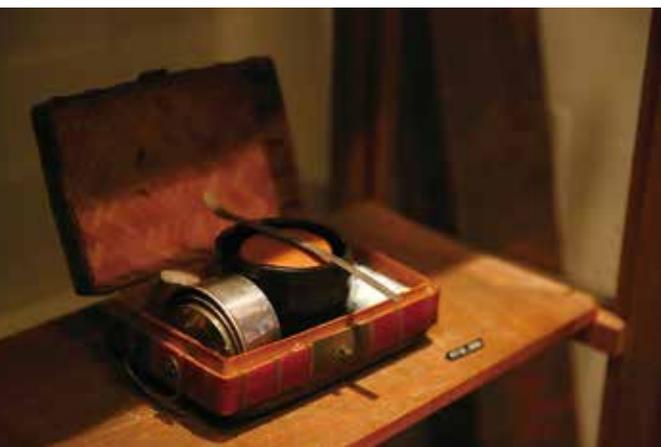
近頃、新たに手掛けるようになってきたという陶板や陶のプレートは、まるで悠久の時を経て遺跡現場から発掘されたかのような佇まいを見せます。彼女の作品には、それを使う場所や飾る場所の空気を一瞬にして変えてしまう静かな存在感があるのです。

そんな中嶋寿子さんが、新店舗 gamadan / ガマダンのために手掛けて下さるのは、パウダースペースの壁面に敷き詰める陶のタイル。「初めは小さな煉瓦を積み重ねていくという構想もあったのですが、サイズを少し大きくすることで、より多様なテクスチャーが表現できるという話になり、タイルに変更となりました。建築空間と作品の融合は夢でもあったので、本当に楽しみです」

工房でブローチを成形する現場を見せていただきましたが、その様子は、まるで彼女の指先から土が成りたい形に象られていくようにも見えたのでした。



(なかじま・としこ)
1986年神奈川県出身。2009年女子美術大学芸術学部工芸学科陶コース卒業。2011年金沢卯辰山工芸工房修了。金沢市在住。白山市の工房にて作陶中。



(たけまた・ゆういち)
1975年金沢市出身。1995年調金を学び始める。1997年アクセサリーショップでオリジナルアクセサリーの制作に携わる。2002年独立。アトリエ兼ショップ「anonymousrhythm」オープン。2004年アトリエ兼ショップ「KiKU」を新塲町にオープン。2007年ジュエリーに加え、生活道具の制作を始める。2011年「sayuu」を東山にオープン。

極めて精緻なリングを作るかと思えば、およそ使いやすいとは思えないカトラリーを作る。そうかと思えば古い金型を譲り受け、加工を施し、独自の作品に変えてしまう。誤解を恐れずに言えば、竹俣勇吉さんはこだわらない人。金工作家とか彫金師とかいうフレームを軽々と越えてしまう人なのです。

「〜ねばならない」というような、

「取っ手についてはまだ構想段階だけど、田中会長の手形をとって使うのもいいかな」

(金工作家・彫金師)
竹俣勇吉さん



手法や技法に固執することなく、いい意味で開き直っている。彼を最も世に印象つけた作品といえば、やはり持ち手が細く頭でつかちなカトラリー。そのフォルムは、彼以降の金工作家たちの作風に、少なからず影響を与えてきたと言っても過言ではありません。

「機能性や使いやすさを追求するのはプロダクトの仕事。機械のような仕事を自らの手で生み出すことに、僕は価値や面白味を感じないんです。でも逆に、機械に任せられた方がいい部分は躊躇なく機械を使いますけどね(笑)」

こういった大胆さが彼の作品を解放し、見る者の目を留める力となつています。その一方、オーダージュエリーの仕上げなどには細心の注意を払い繊細に仕上げるのが竹俣流。オーダーという世界の中では、顧客にとって最適なものを提供したいという気持ちがあるからなのです。この数年、精力的に手掛けていたという茶道具には、そうした彼の大胆さと繊細さの両方を垣間見ることが出来ます。

彼が手掛けるgamadan／ガマダンのドアの取っ手や照明は、きっとどこかにあったように感じて、どこにもなかったものになるのではないでしょうか。

冬布団の しまい方

基本は？

- ① 干す
- ↓
- ② 乾燥させる
- ↓
- ③ 通気性のよい袋に入れてしまう

①+②カビやダニを
防ぐためにも
押入にしまう前に
干しましょう。

天気がよく空気の乾燥した日中(午前11時頃～午後2時頃までの間)に、日を当てて風を通す。

羽毛布団なら3時間ほど、綿布団の場合は表裏それぞれ3時間ずつしっかりと日に当てましょう。

《ポイント》

- 2日以上晴れた日が続いた時に干すこと。雨が降った翌日は湿気が多く、十分に乾かせません。
- 両面に日を当てましょう。

● 掛けカバーはかけたまま干す(ホコリや鳥のフンをよけます)

● 布団は叩かない。生地や中綿が傷み、ホコリが出る原因となります。

③ しまう

湿気に注意をして
しまいましょう。

衿汚れなどがないかをチェックしましょう。汚れがある場合はリフォームをおすすめします。

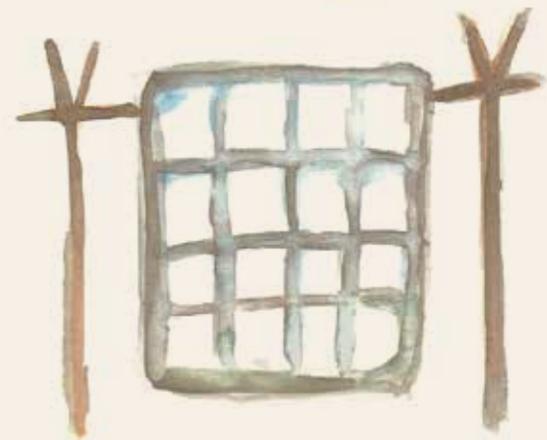
押入やクローゼットに布団を収納する時は、湿気のもりにくい上段(できれば天袋)にしまうのが望ましいです。スノコを敷き、通気性を保つこと。壁ともスキマをあける。必ず布団袋に入れましょう。(空気を通す不織布や帆布など。ビニール袋はNG)

布団圧縮袋は使わない。

(圧縮した羽毛や羊毛は完全に復元しません)

羽毛や羊毛、絹の布団は防虫剤を入れること。押入やクローゼットは時々扉を開けて風を入れましょう。季節布団を入れ替える時には、布団を全部出して掃除しましょう。

収納スペースの8割程度までしかものを入れないのがベター。



チェックすること

【布団の寿命を点検する】

- 羽毛や綿布団は5~6年でリフォームを。真綿布団などは10年程度で見直しましょう。
- 客用布団の使用頻度をチェックする。ほとんど使わないようなら、リフォームするか処分を考える。



金沢に暮らす人。

町家をリノベーションした空間で
北欧のヴィンテージ雑貨を販売。

PIPPURIKERA

PIPPURIKERA

宮下知大さん（東京都出身）

宮下理栄さん（富山県出身）

金沢市高岡町にある古い町家の1階。フィンランドを中心としたカラフルでポップな北欧のヴィンテージ雑貨を取り扱う『ピップリケラ』が誕生したのは2013年6月のこと。店を営む宮下知大さん・理栄さん夫妻は、金沢に店を構えるまでは、東京が仕事と生活の拠点だった。東京出身の知大さんはグラフィックデザイナーとして10年以上、理栄さんはヨーロッパのヴィンテージ古着を取り扱う店や、フィンランドのヴィンテージ雑貨を扱うショップに勤務し、仕入から販売まで通りの経験を積んでいた。

そんな二人が、結婚後の開業場所として金沢を選び移住してきたのは、ライフスタイルを見直したことがきっかけだったという。

「仕事や生活の拠点をどこにす

るかというのは、生き方を大きく左右します。家族の時間も大切にしたいと考えていましたし、開業場所については、都内はもちろん鎌倉や湘南、いろんな場所を検討しました」と知大さん。

二人とも古いものが好きで、新しさと古さが同居する金沢に対し、いいイメージを持っていたという。

「住みながら店をしたいという思いがあって、古い町家なんかいいよね、なんて話をしていて実現できたのは嬉しいのですが、今では生活スペースが商品のバックヤードとして浸食されつつあるので、そろそろ何か考えないと」と笑う理栄さん。

友人も知人もいないところから始めた金沢暮らしだったが、今ではデザイナーとイラストレーターとしても活躍のフィールドを広げている二人。『ピップリケラ』が意味するスパイスは、この街における彼ら自身。もはや欠かせない存在となっている。



PIPPURIKERA (ピップリケラ)
金沢市高岡町10-13
076-225-7775
<http://pippurikera.com/>



【健やかな暮らし】99×62cm
少ない色で美しく表現された生命の樹には、自由な感性が光ります。



【ふたつの愛】89×60cm
2本の糸杉が並ぶ様子は、変わらぬ深い愛を表しているようです。



【実りの樹】198×155cm
枝にたくさんの実をつけた生命の樹は、正に命の象徴。



【家族のおまもり】195×123cm
オールドギャツベは、カシュガイの遊牧民たちが、宝物の様に大切にしていたものです。



【草原の中の木】197×148cm
草花が生い茂るザクロス山脈の草原の様に美しい緑色。生命の樹が線だけで織り込まれています。



【豊かな日々】149×108cm
グランドの茶色は染色をしていない羊毛そのままの色。豊かな日々を願い鮮やかな実を織り込んでいる。



【家族の平和】179×129cm
枝の先にあるカラフルな四角形は幸せの窓。家族がいつまでも幸せでありますように。



【緑葉の木漏れ日】198×149cm
たくさんの葉が生き生きと生い茂る生命の樹。時の美しさを感じます。



【にぎやかな午後】230×164cm
ザクロの皮で染められた黄色に、糸杉の形そのままの生命の樹が、鮮やかに織り込まれています。



【幸せを運ぶ鳥】180×125cm
力強い生命の樹は、家族の支えとなり、鳥が幸せを運んでくれると言われています。

ギャツベ 生命の樹

「The tree of Life(生命の樹)」といわれる文様の起源は古く、神話や宗教的なシンボルとして世界各地で描かれ、生命力の源泉として、または豊穡や生産の象徴として崇拝もされてきました。

生命の樹はギャツベの文様としてもとてもポピュラーです。カシュガイ族の遊牧民が住むイラン西南部ザクロス山地は年間の降雨量が少なく、背の不高くない低木が目立ちます。そんな中、天高くそびえる大木は、神秘的な存在として人々に敬われてきました。

木の根幹部を今の暮らしとすると、枝が天に向かって伸び広がるさまは「成長」や「健康」、「長寿」、「家族の繁栄」など、幅広い願いを表す文様として大切に織り続けてきたのでした。母から娘へと織り伝えられてきたその文様には、様々な思いが重なっているのです。

「石田屋みんなのギャツベ展」
2015年4月29日(水・祝)～5月10日(日)
石田屋犀川店にて 11:00～19:00 会期中無休
金沢市清川町1-1 ☎076-280-4800



1. フライスボーダーミトン 700円
 2. フライスボーダー帽子40~44cm 1,300円
 3. フライスボーダースタイ 1,300円
 4. フライスボーダー肌着2WAYドレス 50~60cm 4,500円
 5. フライス短肌着 50cm 1,400円
 6. フライスコンビ肌着 50cm 2,000円
 7. さらし木綿 4,000円
 8. オムツカバー(新生児用) 3,800円
 9. ガーゼハンカチ3枚セット 1,900円
 10. くまうさぎハンカチ 700円
 11. ブラウンチェックミニケット 3,000円
 12. 木浴ガーゼ2枚セット 1,900円
 13. 布オムツ5枚セット 3,900円
 14. 3重ガーゼバスタオル 3,800円
 15. 多目的コットン 530円
 16. 洗濯パウダー 1,000円
- ※価格はすべて税別

生れてくる赤ちゃんのための PRISTINE オーガニックコットン出産準備セット 30,000円(税別)~

赤ちゃんは、ちょっとした刺激や気温・湿度の変化を受けやすく、とてもデリケート。出産準備品として、まず必要なのが肌着。フライス地やガーゼ地などの短肌着やコンビ肌着は季節を問わずおすすめ。また、ねんねの時に使える組布団や、シール織りのブランケット、布おむつも揃います。



洗い替えにも
オーガニックを!

PRISTINE
オーガニックコットン
ベビー組布団4点セット
(敷布団、敷カバー、掛
布団、掛カバー)
48,000円~

オーガニックコットン
ベビー布団掛カバー
10,000円~

薄手市松ミニブランケット
2,600円

市松プチケット
4,900円

赤ちゃんのうちの
肌感覚は大切!!



リバーシブルで
とってもお洒落!

スタイ
2,700円

2重ガーゼのギンガム肌着
スイートすぎないデザインが人気で
す。スタイとセットで贈り物にも喜ば
れています。3,400円



汗かきなベビーに
最適な吸水性

ガーゼロンパース

素材感が嬉しい2重ガーゼのシンプルな
一枚。たくさん汗をかくベビーにも、ママに
も嬉しい肌心地。5,600円



2重ガーゼの3WAYおくるみストール
赤ちゃんのおくるみとして、授乳時のケープとして
ママのストールとして便利に使える優れものです。
8,300円



2重ガーゼに
くるまれてシヤワセ!

※価格はすべて税別

「こんにちは赤ちゃん」 石田屋の 出産準備品いろいろ

大切な赤ちゃんのためにできること。それは、生まれて初めて身に着けるものは、デリケートな肌にも優しい素材を選ぶこと。石田屋犀川店の1階に誕生した「PRISTINE」ショップには、農薬や化学肥料を散布せず健やかに育ったオーガニックコットンで作られた、染色をしていない、綿花そのものが持つナチュラルカラーとブラウンカラーの出産準備品が豊富に揃っています。また、洗いざらしが気持ちいいガーゼの肌心地が嬉しい「ao daikanyama」のコットンガーゼ服はA・UN店で取り扱い中。

自家用としてはもちろん、お祝いの品としても選ばれ、喜ばれています。ぜひ実際に手にとって素材の良さを実感してください。

洗いざらしのコットン ao daikanyama ママとベビーのガーゼ服

じゃぶじゃぶ洗えて、カラリと乾く。
太陽のおいがるコットンガーゼ。
優しい肌触りが嬉しくて、赤ちゃんはもちろん
つついママも使いたくなるのです。
他にはないカラーリングも人気の秘密。



テレビや雑誌で依然、大きな注目を集め続けている話題のココナッツオイル。石田屋では、何年も前から「ナチュレオ」をおすすめしてきましたが、近頃は、様々な使い方でココナッツオイルを生活に取り入れる人が増えてきました。今回は食べるだけでなく、生活の中で多様に広がるココナッツオイルの使い方をいくつかご紹介します。



ココナッツオイル



重曹

ココナッツオイル + 重曹



使い方① 歯磨き

重曹とココナッツオイルを同量混ぜ合わせただけで歯磨きペーストとして使うことができます。歯のくすみごとれて白くツヤが出ると評判です。タバコを吸う人の中には面白いほどヤニがとれたという逸話も。少し重曹のしょっぱい味がしますが、塩歯磨き粉だと思って。

ココナッツオイル



使い方② オイルプリングに

芸能人や海外セレブの間でも話題のオイルプリング。元々はインドの自然療法アーユルヴェーダに由来する健康法の一つといわれ、昨今はココナッツオイルで15分程度クチュクチュウがするのが人気です。表情筋が刺激されるので小顔効果も期待できます。(ココナッツオイルを吐き出す際は排水口ではなく、ティッシュなどに吐いてゴミ箱へ)

使い方③ スキンケアに

自然派化粧品の原料としてクリームや石けんなどにも使われているココナッツオイル。分子量が小さく親水性も高いので、肌なじみが良く浸透力も抜群。同量の水、もしくは濡れた手でオイルを適量なじませれば、洗顔後のフェイスオイルや、入浴後のボディオイルとして幅広く使えます。

原料はココナッツオイル100%です。水素添加やエステル交換を通し分子構造を人工的に変化させている一般的な植物油とはまったく異なり、必要最低限の精製しか行っていません。約91%が飽和脂肪酸で構成されているので酸化しにくく、また中鎖脂肪酸をたっぷり含んでいるので、摂取しても細胞に取り入れられることなく、すぐに肝臓で燃焼されるため、体脂肪になりにくいのも特徴です。一部の研究では、アルツハイマー型認知症の予防改善にも効能を発揮しているということです。

石田屋各店で取扱いのココナッツオイル



「ナチュレオ」

912g
2,000円(税別)

ココナッツオイル 活用上の注意

食用や抗菌に幅広く使えるココナッツオイルですが、効果的に使用するためには予め注意しておくこともたくさんあります。酸化しにくく保存も簡単で、食べて、塗って、万能に使えるからこそ、上手に使いましょう。

注意点①

ココナッツオイルに水が入らないようにする。菌が繁殖する恐れがあるので、使用するスプーンも清潔なものを使うようにする。

注意点②

ココナッツオイルは、23~25℃以上で液体となり、逆に20℃を下回りはじめると徐々に白く固化しはじめます。成分に違いはありませんが、温める場合は電子レンジなどは使用せず湯せんするなどして使用してください。

注意点③

ココナッツオイルは低温で凝固するため、料理やうがいに使った後のオイルを排水口に流してしまうと、排水管が詰まってしまう可能性があります。ティッシュやキッチンペーパーなどで拭き取るようにしてください。

注意点④

ココナッツオイルは酸化に強い油ですが、200℃を超えると、他の油と同じようにトランス脂肪酸が発生する可能性があります。揚げ油として使う場合は170℃ぐらいで使用いただくのがおすすめです。

注意点⑤

「ナチュレオ」の保存・保管については、必ず別の容器に移しかえてお使いください。口が広めで清潔な容器がおすすめです。低温で固まりますので、口の狭い容器の場合、中身が取り出しにくくなる場合がございます。

犀川店

3月1日(日)～15日(日)
襟巻工場展
安井未星の染めて織って結んで
(土日は安井氏在廊)

3月8日(日)
フェイシャル&ヘッドマッサージ

3月25日(水)～30日(月)
PRISTINE パジャマフェア
セミオーダー会

3月27日(金)～29日(日)
骨格リモデル・育菌リンパかつさセラピー

3月28日(土)
第2回 PRISTINE カフェ
こだわりのいちご大福づくり&ぬくぬくトークショー

4月24日(金)～26日(土)
骨格リモデル・育菌リンパかつさセラピー

4月29日(水・祝)～5月10日(日)
「石田屋みんなのギャッベ」展

A・UN店

4月9日(木)～12日(日)
アウン健康の会

5月20日(水)～6月1日(月)
アトリエマニスのお洋服展

和座店

4月10日(金)・11日(土)
自宅で作れる!
ミネラル還元水素水

4月10日(金)～12日(日)
足型健康チェック
アーチサポートインソール体験

金沢南店

5月1日(金)～商品売り切れ次第終了
「新店舗オープンのための棚卸しセール」



犀川店
金沢市清川町1-1
☎076-280-4800
11:00～19:00
火曜定休

A・UN店
めいてつエムザ8階
☎076-260-2627
10:00～19:30
休みはめいてつエムザに準ずる

和座店
能美市大成町156
☎0761-55-3737
10:00～19:00
火曜定休

金沢南店(本店)
金沢市額乙丸町2259
☎076-298-4800
10:00～19:00
火曜定休



〈編集後記〉

北陸人にとって、待ち遠しい春よ！
雪割つて芽吹く春よ！
体内時計をリセットする春よ！
10時間以上、何も食べない習慣で
8kg減量化成功した春よ！(笑)
この春、還暦を迎え、「何を」食べるかより
「いつ」食べるかが重要と気づいたこの頃です。

田中和昭

びゅーと大風が吹いて、
あつという間にまきこまれてしまいました。

Bamban / ガマダン
もしかしたら今、人生で最大のドキドキを
体験しているのかもしれないです。ドキドキ。

大道めぐみ

2015年は、仕事やプライベートで、
新しい事がたくさん始まり、
刺激的な年になりそうです。
激しい流れの中でも、毎日を丁寧に
過ごしていきたいです。

丸山 篤

Bamban / ガマダン / ガマダンが生まれていく様子を、
そばで見守る機会に恵まれたことに感謝しています。
その道のプロたちが、もてる力を結集して、
惚れ惚れするような仕事ぶりで期待に応える…
この姿を、この感動を、ちゃんと伝えなくては。

丹羽麻理

5月の新店舗OPEN 本日に待ち遠しいです。
石川県在住で全国で活躍されている、
トップクラスの作家さん達の
温かい応援を受けて完成する事ができるわけです。
ワクワクするショップ&レストランカフェ
皆さんの作品を最大限に活かせるよう
今、頭を悩ましている毎日を送ってます。

田中佳美

次号 / 「眠音 vol.34 2015 夏号」は6月1日発刊予定です